

我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立逢坂小学校

調査目的	◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
	◇学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
	◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

【結果について】

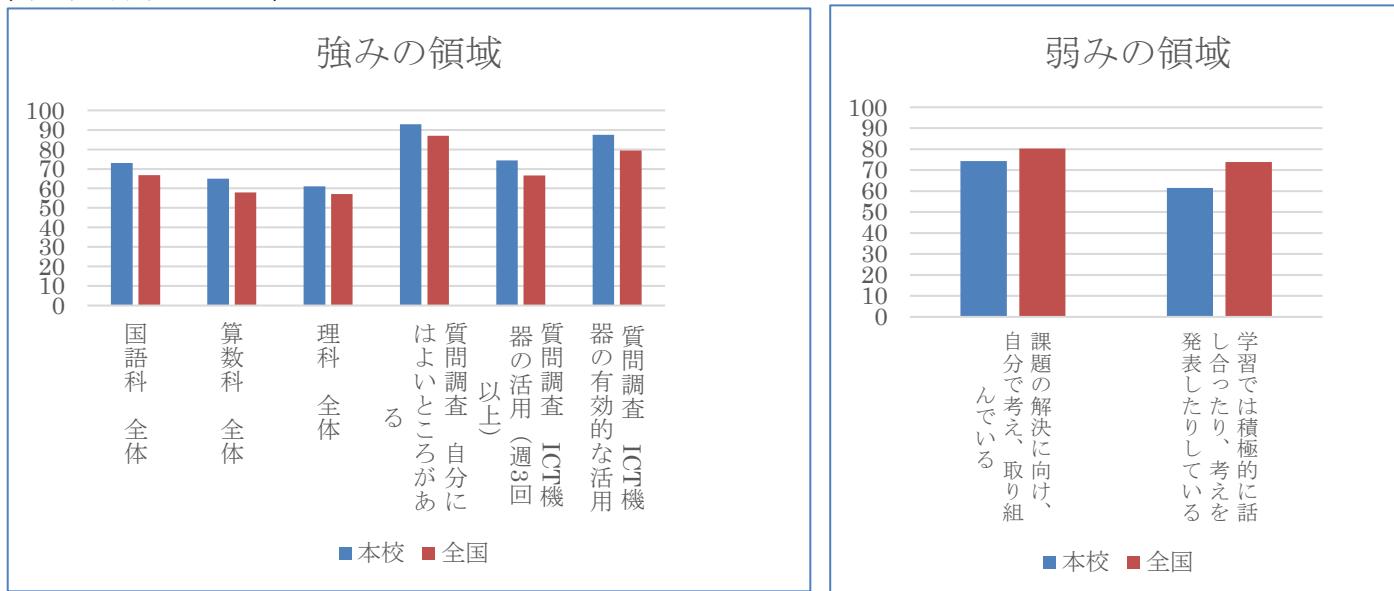
《概要》

- ・学力調査結果から見た学力においては、国語、算数、理科ともに全国平均を上回っており、良好な結果と言える。
- ・質問調査では、全体的に肯定的な回答である項目が多く、児童が充実感をもって生活を送ることができている様子が読み取れる。
- ・学習や生活全般で、自ら考えて自分に合った学習や取り組みを行う力にやや弱さが見られる。

《○強み・●弱み》

- 全ての教科で、「知識・技能」「思考・判断・表現」の両項目が全国平均より高い結果となっている。特に国語の漢字の書き取りや算数の計算問題といった基礎・基本の項目に関しては良好な結果が出ている。
- 全国比で、自分にはよいところがあると感じている児童が多い。
- 全国比で、ICT機器を扱う頻度が高い。また、ICT機器の有用性を感じている児童が多い。
- 全国比で、学習の中で話し合ったり、自分の考えを発表したりする活動が十分だと感じている児童が少ない。
- 全国比で、課題の解決に向けて、自分で考え、自ら取り組んでいる児童が少ない。

◇強み・弱みグラフ◇



【指導の充実に向けて】

- ・これからも主体的な学習につながるような学習課題やめあてを設定し、ふり返りを大切にした授業づくりに取り組む。また、児童自らの力で学習進められるような学習形態に関しても学校全体で探っていく。
- ・今後も継続して家庭との連携を密にし、児童の基本的な生活習慣の確立に努める。
- ・学習全般を通して、課題を共有した上で、解決に向けて友達との話し合いや協働する活動を多く盛り込む。また、それらの成果を全体に発表する機会を設定することで、言語活動の充実を図っていく。
- ・アナログとICT機器のメリット・デメリットを分析し、今後も継続して不易な学びを大切にしつつもICT機器の効果的な活用方法を探っていく。